

### 練習問題

講義で扱った 2024 年 10 月 24 日決定のパラグラフ 34-36 について、「仮にローマ規程  
関連規定の解釈としてはこれで正しいとしても、同規程非当事国たるロシアに対して同  
規定を適用することは出来ないので、モンゴルによるロシア大統領の身柄確保・移送は  
国際法上正当化できない」と反論がなされたとする。裁判所の立場からはどのように再  
反論することになるか。